

- (法第 26 条関係「定款変更認証申請」)
- (法第 28 条関係「書類の備置き」)
- (法第 29 条関係「事業報告書等の提出」)

2023 年度の事業報告書

2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで

認定NPO法人accommon

1 事業の成果

(1) 特定非営利活動に係る事業

I 座談会・勉強会事業

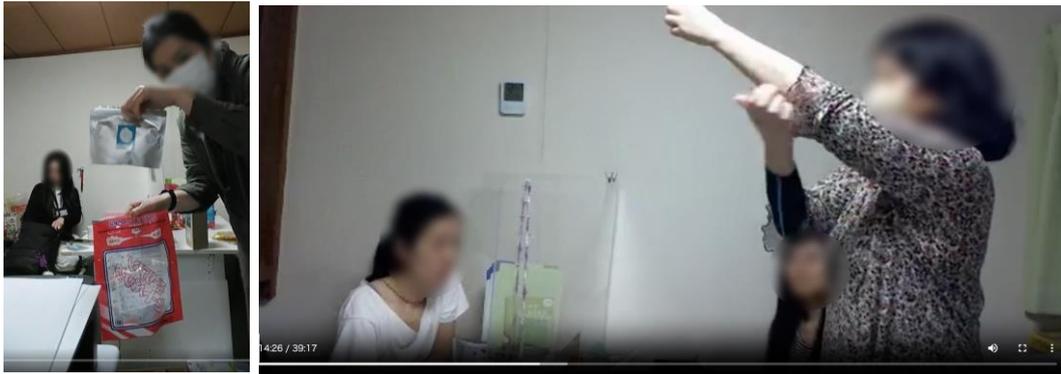
■ みんなの TSUDOI(座談会)

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、対面開催での座談会を再開した。小グループに分かれて話の花を咲かせ、各々がリフレッシュできた様子が見られた。不安を感じながら親子で参加した保護者の方から、参加して元気になれた、子どもも楽しんでいたという感想もいただいた。



■ よもやま話配信(勉強会)

会員限定 SNS プラットフォーム(Workplace)を利用したスタッフ同士のトークライブを2回配信した。会員がいつでも視聴できるようアーカイブも残した。アイーナ様からご協賛いただいた非常食を使い、5月2日は「アルファ化米の作り方&防災よもやま話」を、5月17日は「もしものそなえ調理体験&試食会」を配信した。9月28日はPTとして働くスタッフによる粗大運動についてPTと母親の視点から語った「お家でできること 大きな動き編」を配信した。



- 出張座談会(勉強会)

協力可能な団体や施設と交渉を継続中であるが、2023年度は開催には至らなかった。

- テーマ座談会:「指導じゃなかった！！コーチング」(勉強会)

スタッフ・会員の2名がコーチング研修を受講したことを機に、コーチングをテーマとした座談会を11月29日に開催した。事務所にて対面とオンラインを併用して開催した。ペアトレやSSTとの共通点や、子育てに限らず円滑なコミュニケーションに活かせる点などが話題に上っていた。

- ペアレント・トレーニング(勉強会)

父親を対象としたペアレント・トレーニング講座(全8回)を開催した。父親が悩みを吐露しやすいよう環境を整えた結果、ハードルが低くて参加しやすかったと好評を得ることができた。

- オープンダイアログ(勉強会)

会員向けにオープンダイアログをベースにした対話の場「オープンな対話をやってみよう」をオンラインで試験的に設けた。座談会では話せないことも話せる、自己肯定感が上がる、深掘りできる等、座談会とは異なる効果が得られている。

- 「学校・園との連携ガイド」出版・販売(勉強会付帯事業)

平成30年度から継続してきた「学校との連携」についての勉強会・ワークショップの内容をまとめた「学校・園との連携ガイド(2020年 岩手県版)」の販売を引き続き行った。



2 学習支援事業

■ まなびの HIROBA

以前は月1回のイベント「まなびの HIROBA」として開催していた学習支援事業であるが、昨年度から、より子どもの興味・関心に合わせた材料や道具、場所を提供する形へと支援方法を変えている。具体的には、①イベント参加が難しい親子に事務所での居場所利用を通じて個別で学びの場を提供する②子どもの興味を引きにくい「学習」というキーワードを使わずオンラインでの学びの場を提供するという2つの形で今年度も支援を行った。

①居場所での創作活動

事務所で居場所利用の際に動画作りやレジン製作などの創作活動をともに行い、「できた」を実感したり、得意なものを第三者から認められるという体験をしてもらった。事務所の狭さのため、移動しづらかったり、狭い作業スペースで活動せざるを得なかったりした。子どもの安全確保と作業のしやすさは改善しなければならない課題である。



②オンラインの居場所(Discord)

2022年度に引き続き accommon 会員だけの閉じられた SNS の場 (Discord) で、自分が作った作品を披露したり、ゲームの様子を動画や写真で見せたりする他、チャット(テキスト)メッセージでやりとりしたり、ボイスルームで通話をしながら一緒にゲームをしたりした。自分の興味のある事柄を通して楽しむうちに、ごく自然に学びに向かう姿が見られた。



- ガイドブックの販売(まなびの HIROBA 付帯事業)
NPO 法人 Hahato・co 盛岡支部で作成したガイドブック「こんなことあるかな？こうしてみよう！」を寄付金付きグッズとして販売した。
- 作品の販売(まなびの HIROBA 付帯事業)
子どもたちの作品を出品してきたアイーナの復興応援バザーは 2023 年度も開催されなかった。販売の手伝いをする体験や自分の作品が購入される体験を提供するため、別のバザーに参加することを検討中である。ホームページや事務所の一画での子どもの作品販売は継続して行った。また、賛助会員の新規申し込みや更新の際にも、子どもたちの作品をお礼の品として送付した。

■ キャリア学習

2019年度から、働くことを具体的にイメージしにくい子どもが、「職業」、「大人になること」そして「進路」について考えられるようなキャリア学習会・体験会を開催してきた。2023年度は普通高校以外の選択肢を知るための「高校めぐり」を開催した。

11月には岩手県立盛岡工業高等学校(定時制)の学校見学・説明会、および学校法人角川ドワンゴ学園N高等学校・S高等学校(通信制)のオンライン説明会を、12月には岩手県立杜陵高等学校(定時制)の学校見学・説明会を開催した。岩手県立盛岡工業高等学校(定時制)では、高校生の授業を見学し教室で口パクで答えを口にする子がいたり、空き教室で高校生の座席にみんなで座ってみたりとリラックスして見学することができた。いずれの高校においても、保護者の満足度を高めたのが、現場で子どもと直接関わる先生から話が直接聞けたことであり、理解が深まった、不安が減ったと言う保護者の声が多かった。オープンスクールでは特性に関する質問がしづらいこともあり、不安を感じる親子が少人数で遠慮せずに見学・質問できる高校めぐりの意義は非常に大きいと言える。



【高校めぐり参加者の感想(アンケートより抜粋)】

- ・勉強になり面白そうな機械が見れて楽しかった。(子ども)
- ・施設の全体や文化を知れたのでとてもためになった。(子ども)
- ・先生のお話を直接聞くことができ進路を考えるきっかけになればと思いますし、自分も勉強になりました。(保護者)
- ・施設を実際に見ることができて、高校生活のイメージがわきやすかったと思います。先生方の温かい対応も説明からうかがい知ることができてよかったです。(保護者)
- ・他校の見学に行く機会があったがそちらは気軽に子供の特性に対しての配慮や、相談がしづらい雰囲気だったので学校の体質がアップデート方式で子供と向き合ってくれる感じがして安心感を得られました。(保護者)

3 体験活動事業

■ あそびの HIROBA

毎月第1日曜日を基本の開催日としてあそびの HIROBA を開催した。カードゲームや Switch、PC ゲームで遊んだり、清田博美先生の親子エクササイズで運動したり、三田聡子先生のオイルパステル・陶芸教室で創作したりした。子どもだけでなく、保護者も一緒に楽しむ姿がどの活動でも見られた。同じ楽しみを通じて親子の距離が近づき信頼関係の維持に一役買っているという感想を教えてくれた保護者もいた。



また、回を重ねて子ども同士も保護者同士も仲良くなり、「この仲間と一緒になら」そして「好きでやりたいことなら」と外部のイベントに複数の親子で参加することもできた。2月のポケモンカードジムバトルイベント(BOOKOFF 主催)に複数親子でバトル遠足に行き、3時間もの間、初めて会う人とやり取りするゲーム大会に挑戦した。



■ 盛岡 YMCA サポートプログラム(チャリティランプログラム)」

盛岡 YMCA 様が提供する発達障がいの子どもたちのための体験活動(サポートプログラム)において、アコモンは子どもたちの特性や対処法を伝えたり、企画段階での懸念点を伝えたり、参加時にフィードバックを返すことで協力している。

今年度は、8月の「ナン作り」は大雨警報発令のため中止となってしまったが、11月の「焼き芋大会」、3月の「スキー&雪遊び」に参加することができた。サポートプログラムではボランティアリーダーと子どもとが1対1のバディを組んで活動することで、その子に合わせた活動参加が可能となる。歳の近いお兄さんお姉さんと一緒に活動する楽しさで子どもたちのモチベーションが高まるだけでなく、リーダーの存在によって親子の距離が適切に保たれ親子ともども活動の満足度が高くなるという意見を複数いただいた。通常は想定が難しい理由で活動参加が困難になってしまう部分について、一つずつ対応していただき体験活動がより充実してきた。盛岡 YMCA 様の企画は子どもたちが安心できる場の一つとなっている。





サポートプログラムの原資となっている盛岡 YMCA 様のチャリティー活動である「インターナショナル・チャリティーラン 2023」(9 月開催)に、アコモンもチームで参加した。非常に長い時間に渡ったイベントであったが、最後までよく頑張って参加していた。

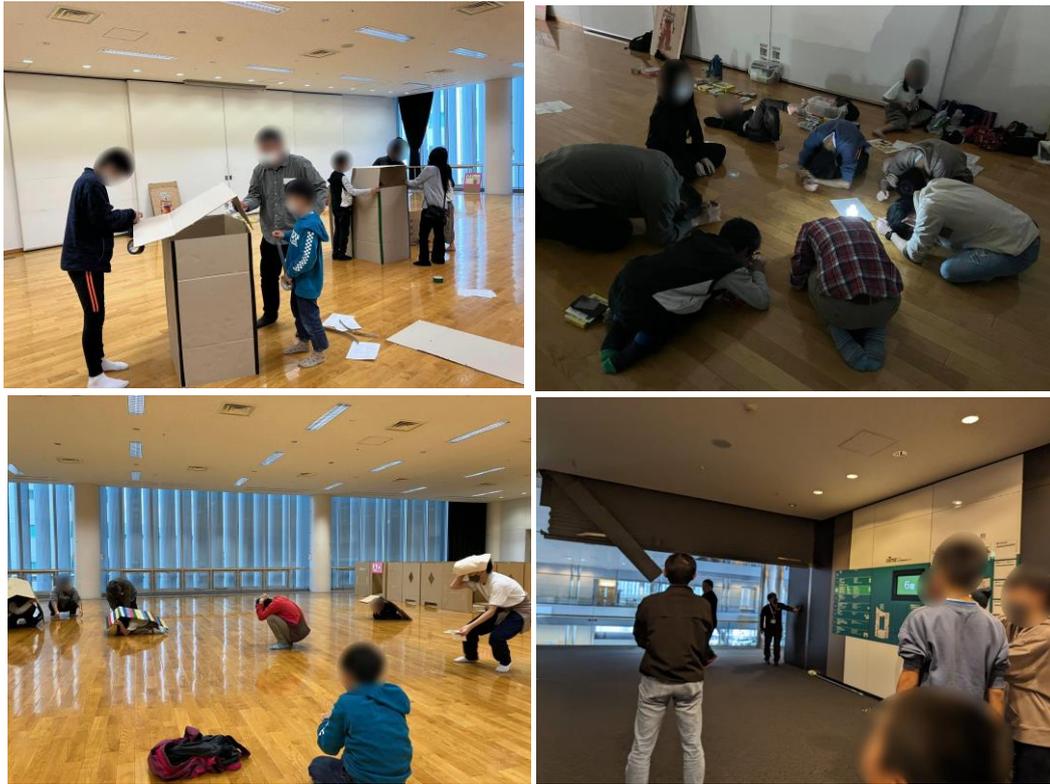


■ 防災学習(災害時のライフハック)

・5 月にアイーナ様から協賛いただいた非常食「もしものそなえ」を希望者に配布し自宅で試食してもらった。

・9 月 3 日のあそびの HIROBA 会場にて盛岡市シェイクアウトに参加した。一分間の避難訓練に参加し、Workplace を使ってオンラインで安否確認訓練を行った。

・10 月にはアイーナ様の全面的なご協力のもと「親子で防災体験」イベントを開催した。ダンボールハウスやダンボールパーテーションを作ったり、停電時を想定して部屋を暗くしランタンだけでカードゲームをしたりと楽しみながら防災知識に触れた他、防火シャッターの見学、非常階段を使った避難訓練を行った。「防災」の硬いイメージを前面に出さなかったおかげか自然とイベントに参加することができ、楽しむうちに結果的に停電時にどうなるのか体験することができた。



4 機関紙等発行事業

広報誌の発行は行えなかった。

5 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

■ 全般

ホームページ、活動ブログ、LINE 公式アカウント、Facebook、Twitter、情報受信希望者へのメール等により情報の発信を行った。

■ 相談・居場所「あいのま」

事務所やオンラインミーティングルームを利用した相談・居場所の提供を引き続き行った。12月からは平日事務所に来ることができない保護者のための休日相談の場も設けた。2022年度に母親サポートに端を発して始めた「もくもく手芸部」は、母親に限らず黙々と手を動かして没頭することでリラックスできる憩いの場として月一回程度開催した。親子の居場所利用については学習支援事業で述べた通り、学びの場であると同時に、様々な創作材料が目に入ることで子どもの「これやってみたい」を引き出し、気軽に初めての創作活動を楽しめる体験の場にもなっている。

- 支援グッズの販売(居場所付帯事業)
サポートブックや受診メモなどの支援グッズの販売を行った。
- 助成金等の申請
NPO 法人ツルハ医療・介護サービス協会による「地域支援活動団体に対する奨励金交付事業」に申請し、交付を受けた。
日本郵便株式会社による年賀寄付金による社会貢献事業助成「2024 年度年賀寄付金助成金」を申請し、採択された。
イーパーツによる第 27 回複合機寄贈プログラムに応募し、ノートパソコンの寄贈を受けた。
- 研修等への参加

日時	内容
5月 19 日(金)	「誰でも参加できる SST」(主催:岩手県立大学[アイーナ事業] 講師:岩手県立大学 看護学部精神看護学教育研究分野 准教授・SST 普及協会認定講師:佐藤 史教氏)に、スタッフが参加した。
5月 21 日(日)	「WISC-V 入門 通常学級で発達障害のある子の検査結果を活かすために」(主催:明星大学発達支援研究センター 講師:大六 一志氏/心理学博士・公認心理師・臨床心理士・臨床発達心理士・特別支援教育スーパーバイザー)に、スタッフが参加(オンライン)した。
6月 3 日(土)	『「発達障害」という診断の背後にあるもの—子どもの発達障害はなぜ増えるのか』(主催:東京大学教育学研究科附属 バリアフリー教育開発研究センター:インクルーシブ教育定例研究会 講師:米田 倫康氏/市民の人権擁護の会日本支部代表世話役)に、スタッフが参加(オンライン)した。
6月 21 日(水)	『「発達障害の診断と治療 ADHD と ASD」出版記念座談会』(主催:一般社団法人発達障害専門センター 講師:榊原 洋一氏/小児神経科医 神尾 陽子氏/児童精神科医)に、スタッフが参加(オンライン)した。
6月 30 日(金)	「発達障害の理解を深めよう！」(主催:KIMULAND SCHOOL 講師:藤原 水奈氏/国際認定行動分析士)に、スタッフが参加(メタバース)した。

7月15日(土)	「TEENS 公開保護者会/7月 発達障害の子の自己理解の進め方」(主催:株式会社 Kaien 教育事業部 TEENS)に、スタッフが参加(オンライン)した。
7月21日(金)	「誰でも参加できる SST」(主催:岩手県立大学[アイーナ事業] 講師:岩手県立大学 看護学部精神看護学教育研究分野 准教授・SST 普及協会認定講師:佐藤 史教氏)に、スタッフ・会員が参加した。
9月1日(金)	「誰でも参加できる SST」(主催:岩手県立大学[アイーナ事業] 講師:岩手県立大学 看護学部精神看護学教育研究分野 准教授・SST 普及協会認定講師:佐藤 史教氏)に、スタッフが参加した。
9月17日(日)	「ペアレントメンター養成講座(Ⅰ期)」(主催:JDDnet(日本発達障害ネットワーク)いわて 講師:佐々木 美希氏/ペアレントメンターいわて 成田 礎野美氏/認定 NPO 法人 accommon 長葎 康紀氏/岩手県発達障がい者支援センター「ウィズ」)に、スタッフ・会員が参加した。
10月5日(木)	「愛着障害の理解と愛着の問題を抱えるこどもの支援」(主催:盛岡市医師会 講師:米澤 好史氏 和歌山大学教育学部 教授)に、スタッフが参加(オンライン)した。
10月8日(日)	「子どもの未来支援セミナー (1)『発達特性を持つ子どもへの理解を深める-育ちやすい環境作りへの工夫-』(2)『思春期どうする?~私が失敗から学んだ大切なこと~』」(主催:岩手県教育委員会 講師:(1)小野 和哉氏/聖マリアンナ医科大学神経精神科 特任教授 (2)平塚 英子氏/講演家)に、スタッフが参加(オンライン)した。
10月8日(日)	「世界を見つめ地域に生きる」(主催:盛岡 YMCA 講師:山田 公平氏/ウィズメンズクラブ国際協会東日本区理事 元アジア・太平洋 YMCA 同盟総主事)に、スタッフが参加した。
10月13日(金)	「弁護士が見た学校で起きている差別-インクルーシブ教育のために知っておいて欲しい権利と制度」(主催:東京大学教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センター:インクルーシブ教育定例研究会 講師:柳原 由以氏 アリエ法律事務所)に、スタッフが参加(オンライン)した。
10月20日(金)	「発達障害の人たちへの支援 -環境設定の勘どころ-」(主催:長野県発達障がい情報・支援センター 講師:新井 豊吉氏/東京家政大学子ども支援学部特任教授)に、スタッフが参加(オンライン)した。
10月27日(金)	「コーチング研修」(主催:岩手県立大学社会福祉学部 講師:平野 順子氏/Coaching Office 代表 佐藤 伊知子氏/東北福祉大学総合福祉学部教授)に、スタッフ・会員が参加した。

10月 29日(日)	子どもの未来支援セミナー(1)「思春期における発達障害特性への対応」(2)「発達障がいと共に生きて、育てて、支援して～20年以上の経験を振り返り当事者・保護者・支援者からの発信～」(主催:岩手県教育委員会 講師:(1)本田 秀夫氏/信州大学医学部子どもの心の発達医学教室教授 (2)笹森 理絵氏/社会福祉士・精神保健福祉士)に、スタッフが参加(オンライン)した。
11月 6日(月)	「第2回 ASD・ADHD グローバルサミット」(主催:ブレインワークスジャパン 講師:アルマ・ガルヴァン氏/ブレインワークス創始者、吉里恒昭氏/株式会社 DMW 所属 臨床心理士、八谷 隆之氏/株式会社 DMW 代表取締役 作業療法士、村松 大輔氏/一般社団法人開華 GPE、地曳 直子氏/一般社団法人 日本リポニュートリション協会代表理事オイリスト、佐藤 加根子氏/一般社団法人 障害のある子のライフプランサポート協会代表理事、中島 美鈴氏/中島心理相談所 臨床心理士、茂木 厚子氏/発達支援&親支援 Kids Sense 代表、吉田 佳代子氏/一般社団法人つなぐいっぽ 代表理事・社会福祉士、佐藤 幸子氏/思春期の生きる力コーチングカレッジ代表 最幸未来コーチ、新井 清義氏/一般社団法人インクルーシブコミュニティ協会 代表理事、茂貴 尚子氏/臨床心理士・ヨーガ療法士・マインドフルネス(MBSR)講師、箕浦 恭代氏/一般社団法人ドラムサークルファシリテーター協会 代表理事、久保田 晃祥氏/NPO 法人ヴィータ 理事長、早川 正道氏/教育コンサルタント)に、スタッフ・会員が参加した。
11月 10日(金)	「アタッチメントと発達障害」(主催:一般社団法人こども発達支援研究会 講師:前田 智行氏/一般社団法人こども発達支援研究会理事)にスタッフが参加(オンライン)した。
11月 11日(土)	「遺贈寄付セミナー」(主催:NPO 法人いわて連携復興センター 講師:三浦 美樹氏/日本承継寄付協会 代表理事)に、スタッフが参加した。
11月 17日(金)	「誰でも参加できる SST」(主催:岩手県立大学[アイーナ事業] 講師:岩手県立大学 看護学部精神看護学教育研究分野 准教授・SST 普及協会認定講師:佐藤 史教氏)に、会員が参加した。
11月 19日(月)	「ABA セラピスト研究会シンポジウム冬 講演 1『児発/放デイ発、福祉事業所で ABA を実践する 事業所を超えた支援の関わりと広がり(仮)』ディスカッション 講演 2『幼児・児童への療育から将来的な就労までを考える』「ABA 早期療育した子の”その後”」(主催:ABA スクール Together 講師:講演 1 池田 翔太郎氏/合同会社 おおぞら 代表取締役 講演 2 佐藤 敬一氏、Saeko Luijnenburg 氏)に、スタッフが参加(オンライン)した。

11月26日 (日)	『保護者支援について』～子どもの成長と共に変わること変わらないこと～(主催:岩手県発達障がい者支援センター 講師:前川あさ美氏/東京女子大学現代教養学部心理コミュニケーション学科教授)に、スタッフが参加(オンライン)した。
12月9日(土)	「発達障害のある子のギフトセミナー」(主催:LITALICO 講師:菅佐原 洋氏/LITALICO ジュニア LITALICO 発達ナビ チーフスーパーバイザー・公認心理師・臨床心理士・臨床発達心理士)に、スタッフが参加(オンライン)した。
12月10日(日)	「児童精神科医たちが語り合う、発達障害の課題と展望」(主催:特定非営利活動法人ネスト・ジャパン 講師:大瀧 和男氏/かずおメンタルクリニック 八木 淳子氏/岩手医科大学 本田 秀夫氏/ネスト・ジャパン代表理事・信州大学医学部子どもの心の発達医学教室教授)に、スタッフが参加(オンライン)した。
1月22日(月)	「発達障害者支援でのオープンダイアログがなぜ有効か?」(主催:NPO 法人ヴィータ(働く発達障害者の支援) 講師:斎藤 環氏/精神科医 筑波大学教授)に、スタッフが参加(オンライン)した。
1月26日(金)	「誰でも参加できる SST」(主催:岩手県立大学[アイーナ事業] 講師:岩手県立大学 看護学部精神看護学教育研究分野 准教授・SST 普及協会認定講師:佐藤 史教氏)に、スタッフが参加した。
1月28日(日)	「第10回障害のある子どもと家族のケア研修会 (1)依存は子どものSOS～子どもを「知る」ことから始まる支援～ (2)ペアレント・トレーニングの実践から ～まず、やってみよう～ (3)家族支援&人生設計」(主催:障害のある子どもと家族のケア研修会 岩手県立看護大学看護学部 講師:(1)鈴木 りほ氏/未来の風せいわ病院 医師 (2)細川 恵子氏/NPO 法人紫波さぷり (3)藤倉 涼子氏/JDDnet[日本発達障害ネットワーク]いわて)に、スタッフが参加(オンラインと対面)した。
2月6日(火)	「NPO 法の認定基準における受取寄付金とその返礼に関する説明会」(主催:NPO 法人会計基準協議会 講師:柿澤 佑一朗氏/内閣府政策統括官 経済社会システム担当付 参事官 共助社会づくり推進担当付 政策企画専門職 話題提供:脇坂 誠也氏/認定 NPO 法人 NPO 会計税務専門家ネットワーク理事長・税理士 コーディネーター :大野 覚氏 NPO 法人会計基準協議会事務局)に、スタッフが参加した。
2月10日(日)	「子ども子育て支援フォーラム」(主催:盛岡市 講師:黒田 大介氏/岩手日報 活動紹介:成田 礎野美氏/認定 NPO 法人 accommon、畠山 節子氏/認定 NPO 法人岩手県青少年自立支援

	センター「ポランの広場」)に、スタッフが参加した。当法人代表である成田が登壇し活動紹介を行った。
3月1日(金)	「誰でも参加できる SST」(主催:岩手県立大学[アイーナ事業] 講師:岩手県立大学 看護学部精神看護学教育研究分野 准教授・SST 普及協会認定講師:佐藤 史教氏)に、スタッフが参加した。
3月24日(日)	ペアレントメンター養成講座(Ⅱ期)・ブラッシュアップ研修(1)講義「発達障がいに関する岩手県の現状」(2)演習「相談技法の基礎～ロールプレイ～」(主催:JDDnet[日本発達障害ネットワーク]いわて 講師:(1)長葎 康紀氏/発達障がい者支援センター「ウイズ」(2)長葎 康紀氏/発達障がい者支援センター「ウイズ」、佐々木 美希氏/ペアレントメンターいわて)に、スタッフ・会員が参加した。

■ 活動の展示・メディア等掲載

活動の展示は行わなかった。

メディア等への掲載はなかった。

- 2 事業の実施に関する事項
 - (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名(定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
座談会・勉強会事業 ■みんなのTSUDO(座談会)	集団活動が苦手な子どもの家族や本人を対象とした、悩みや情報を共有するための座談会。	8/30 10/11 11/29 12/6 2/7	アイーナ	4	盛岡市、滝沢市、紫波町、花巻市、奥州市等の保護者、本人延べ 40名	608
■よもやま話配信(勉強会)	会員限定 SNS にて、スタッフ同士のトークをライブ配信(見逃し配信あり) 5/2「アルファ化米の作り方&防災よもやま話」 5/17「もしものそなえ調理体験&試食会」 9/28「お家でできること大きな動き編」	5/2 5/17 9/28	事務所 オンライン	4	会員家族(保護者) 30組	
■テーマ座談会(勉強会)	「コーチング」をテーマとした座談会形式で情報の提供を行う。 「指導じゃなかった!! コーチング」	11/29	事務所 オンライン	3	盛岡市内の保護者 延べ 4 名	
■ペアレント・トレーニング(勉強会)	父親向けに限定したペアレント・トレーニング講座(全8回) 「お父さんのための子どもの味方になる方法」	6/25 7/23 8/27 9/16 10/22 11/26 12/24 1/20	アイーナ	2	盛岡市内の保護者 延べ 16 名	

<p>■オープンダイアログ(勉強会)</p>	<p>会員に限定したオンラインのオープンダイアログ勉強会</p> <p>「オープンな対話をやってみよう(仮)」</p>	<p>6/25 7/23 8/27 9/16 10/22 11/26</p>	<p>オンライン</p>	<p>3</p>	<p>盛岡市、滝沢市、紫波町、花巻市、等の家族、本人延べ36名</p>
<p>〔勉強会事業付帯事業〕 □出版および出版物販売</p>	<p>「学校・園との連携ガイド」出版・販売</p>	<p>随時</p>	<p>事務所 アコモンストア</p>	<p>3</p>	<p>盛岡市内の家族や本人、支援者延べ 名</p>
<p>学習支援事業 ■まなびのHIROBA</p>	<p>ボードゲーム・書籍等の貸出、事務所での創作活動の支援。</p> <p>オンラインの居場所(Discord)、Minecraft アコモン限定サーバーの設置。</p>	<p>随時</p>	<p>事務所 オンライン</p>	<p>3</p>	<p>会員家族30組</p>
<p>〔まなびのHIROBA付帯事業〕 □作品の販売 □ガイドブックの販売</p>	<p>居場所等で子どもたちが作製した作品を販売。</p> <p>NPO 法人 Hahato・co 盛岡支部で作成したガイドブック「こんなことあるかな?こうしてみよう!」の販売。</p>	<p>随時</p>	<p>事務所等 アコモンストア</p>	<p>4</p>	<p>全国延べ25名 延べ1名</p>
<p>■キャリア学習</p>	<p>集団活動が苦手な子どもと保護者を対象に、進路や仕事について学び考える活動。</p> <p>「色々な高校を見てみよう」</p> <p>①11/21 岩手県立盛岡工業高等学校(定時制)見学</p>	<p>11/14 11/21 12/14</p>	<p>オンライン 盛岡工業高等学校、杜陵高等学校</p>	<p>3</p>	<p>盛岡市、紫波町等の保護者や本人延べ22名</p>

	<p>②11/14 学校法人角川ドワンゴ学園N高等学校・S高等学校(通信制)オンライン説明会</p> <p>③12/14 岩手県立杜陵高等学校(定時制)見学</p>				
<p>体験活動事業</p> <p>■あそびのHIROBA</p>	<p>集団での活動が苦手な子どもと保護者が、運動や創作など伸び伸びと体験できる会(月一回)。</p> <p>親子エクササイズ</p> <p>創作活動(オイルパステル&陶芸教室)</p> <p>ボードゲーム</p> <p>ポケカジムバトル遠足</p>	<p>5/7</p> <p>10/1</p> <p>8/6</p> <p>1/14</p> <p>4/2</p> <p>6/4</p> <p>7/2</p> <p>9/3</p> <p>11/5</p> <p>12/3</p> <p>2/4</p> <p>2/11</p>	<p>西部公民館</p> <p>西部公民館</p> <p>西部公民館</p> <p>BOOKOFF 茶畑店</p>	3	<p>盛岡市、紫波町、一関市等の親子延べ145名</p>
<p>■盛岡 YMCA サポートプログラムおよび関連イベント</p>	<p>盛岡 YMCA 様にアコモが協力して企画された、集団での活動が苦手な子どもが野外活動できるプログラム</p> <p>「夏の自然の中でナンを作ろう」</p> <p>「落ち葉を使って焼き芋大会をしよう」</p>	<p>7/16</p> <p>中止</p> <p>11/12</p>	<p>外山森林公園</p> <p>滝沢市</p>	3	<p>盛岡市、一関市、紫波町等の親子延べ39名</p>
	<p>「ゲレンデで遊ぼう！」</p>	3/3	<p>安比高原スキー場</p>		

	インターナショナル・チャリティーラン	9/23	岩手県立大学特設コース		
■防災学習	アイーナ様提供「もしものそなえ」配布・試食	5月～	各家庭	3	会員家族 30組
	盛岡市シェイクアウトへの参加と安否確認訓練	9/3	西部公民館		
	アイーナ様のご協力による避難訓練と停電時の安心な過ごし方を体験する「親子で防災体験」	10/29	アイーナ		盛岡市内の親子 延べ12名
機関紙等発行事業	広報誌の発行は行えなかった。				
その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	情報発信 居場所(15件) 相談(12件) 助成金申請 研修等への参加	随時	事務所等	4	(居場所・相談)岩手県内の家族や本人 延べ53名

(2) その他の事業

①制作物等販売事業を行った。